

## 天皇盃第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会北海道選手団の選考について

### 1. 大会日程

令和7年1月19日(日) 広島県広島市

### 2. チーム編成

監督1名・コーチ2名・選手10名 合計13名

### 3. コーチングスタッフ

監督 大井 貴博(東海大学附属札幌高校)

コーチ 伊藤 浩紀(北海道北見北斗高等学校)

コーチ 谷川 亮太(北見市立高栄中学校)

※上記3名に協力コーチ・トレーナー等を加えて編成する

### 4. 代表選手選考方法

中学 A: 9月29日開催の南部忠平陸上競技大会(函館市)男子3000mの最上位選手1名を代表内定とする。

B: 令和6年4月1日から令和6年10月27日までの公認記録を参考に上位から2名を選出する。

(1) AとBを合わせた代表者3名の中から2名が本戦に出場する。

本戦の出走は、内定記録順位で決定するのではなく、開催地に現地入りしてからの状態および合宿等で実施するトライアル等の結果を見て判断する。

(2) 中学1年生は対象としない。

(3) 中学2年生の3000m記録上位者2名を本戦に帯同する育成選手として選出する。

高校 下記日程の間に出した公認記録をもとに上位4名を選出する。

対象記録: 令和6年4月1日から令和6年11月30日までの公認記録

(1) 選考対象種目 5000m

(2) 選考優先順位 5000m記録上位者4名

(3) 基本的には記録上位者から正選手とするが、直前の合宿および現地入りしてからの状態によっては変更する場合がある。

一般 5000m、10000mの記録上位者をもとに、実業団駅伝、大学駅伝の実績を考慮し、ふるさと枠を有効に活用しながら3名を選出する。

対象記録: 令和6年4月1日から令和6年11月30日までの公認記録

※基本的には10000mの記録を優先する。

※大会スケジュールや体調により調整が困難な場合、下位対象者を繰り上げる。

### 5. その他

(1) 代表選手の選考にあたり、一次合宿前に辞退者が出た場合やケガ・体調不良等が発生した場合、また強化委員会で開催する練習会・合宿等で派遣を委嘱されたにも係わらず正当な理由なく不参加の場合、下位対象者を繰り上げることにする。なお、練習会・合宿等は出走選手の選考材料ともなるので委嘱された場合は必ず参加すること。

(2) 本戦出走は、前記4を基本とするが、開催地に現地入りしてからの体調や状態によって最終的な判断をする。北海道チームとして上位を目指す上での判断となりますことご理解願います。